



見る、学ぶ… 酪農資料館



第1展示室 乳文化の源泉を探る

■展示内容
世界の酪農史を学ぶ・牧場から学校まで・乳製品を作る道具

第2展示室 乳牛と牧場

■展示内容
乳牛の生態・乳牛の飼育技術



第3展示室 牛の国 乳の里 安房・千葉

■展示内容
日本の酪農のあけぼの・安房酪農家の先見・牽引車としての安房酪農・酪農王国への歩み・近年の千葉酪農・近年の酪農技術

ここは、日本酪農発祥の地!!



ここ嶺岡一帯は、安房の国守里見氏が軍馬を生産するためにおこした牧場で、その後の徳川幕府も直接管理する牧場としていました。八代將軍徳川吉宗公は、享保13年(1728年)インド産と言われる白牛(はくぎゅう)を導入し、この嶺岡で飼育し白牛の乳から

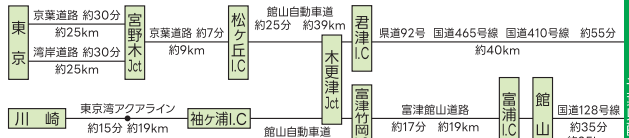
「白牛酪」という乳製品を製造させ、強壮剤や解熱用の薬として使っていました。吉宗公が牛乳を使って乳製品を作ったことが日本の酪農の始まりとされており、千葉県は「日本酪農発祥の地」として「千葉県史跡」に指定しています。

●千葉県嶺岡乳牛研究所

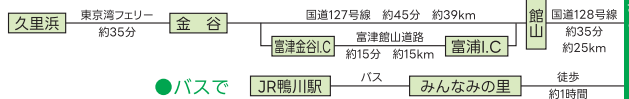
嶺岡乳牛研究所は、明治44年(1911年)8月に千葉県種畜場嶺岡分場として誕生し、以来乳牛を改良し、優秀な乳牛を増やし広めるための試験研究を実施してきています。



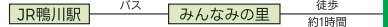
●自動車で



●フェリーで



●バスで



姉妹施設をご紹介します

道の駅とみうら 枇杷倶楽部



南房総市
富浦町青木123-1
☎0470-33-4611
無休(レストランのみ年間数日休業あり)

道の駅おおつの里 花倶楽部



南房総市
富浦町大津320
☎0470-33-4616
休館日(5月中旬～10月まで売店業務は休業)

道の駅三芳村 鄙の里



南房総市川田82-2
☎0470-36-4116
不定休

道の駅ローズマリー公園



南房総市白子1501
☎0470-46-2882
無休(臨時休業有)

道の駅富楽里とみやま



南房総市二部2211
☎0470-57-2601
無休(臨時休業有)

道の駅千倉潮風王国



南房総市千倉町千田1051
☎0470-43-1811
定休日:水曜(1月～3月、8月は無休)

入園無料

無料駐車場完備
(大型車6台、小型車110台)

- 開園時間 9:30～16:30(入園は16:00まで)
- 休園日 毎週月曜日(但し、月曜日が祝日の場合は翌平日) 年末年始(12/29～1/3まで)

千葉県 酪農のさと

〒299-2507 千葉県南房総市大井686

TEL.0470-46-8181
FAX.0470-46-8182

https://www.e-makiba.jp/

千葉県 酪農のさと



白牛のいる酪農のさととは、動物とふれあえ
緑に囲まれ、太陽の恵みをたっぷりと浴びて
のんびり過ごせる広場です。



資料館で、酪農博士に…。

酪農の歴史・乳牛の生態・牛と農家の共存
のすがたなどを楽しみながら、自由に学習
できます。



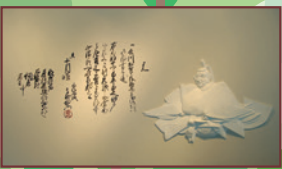
白牛は、 歴史の産物。

ラクダのようなコブがある珍
しい真っ白な牛は酪農のさと
の人気者です。

嶺岡乳牛研究所

東屋

第2白牛舎



資料館で、酪農博士に…。

酪農の歴史・乳牛の生態・牛と農家の共存
のすがたなどを楽しみながら、自由に学習
できます。

アイスクリームも
あるよ!!

防疫の為、この先
立入禁止



放牧場でヤギと ふれあおう。

山の斜面を利用した酪農の広場では、
ヤギがのんびりと過ごしています。
すぐ近くでふれあえるエリアです。

ココで夜
ヤギさんは
寝ています

トイレ

新鮮な野菜が
あります(土・日)

酪農資料館

ウェルカム広場

やぎ小屋

私達は、この
シンボルです

小型駐車場

小型車
110台

大型車
6台

大型駐車場

第1白牛舎

のびのび、 ゆったり。酪農のさとマップ